

## 【車いすから浴層のシャワー椅子まで】

対象者：田中さん、左片麻痺（不全麻痺）、立位保持は短時間なら何とか可能

ステップ	スキルのポイント
1 . 風呂場の安全確認	風呂場がぬれていないか確認する。
2 患者の状態を整える	田中さんに説明する。 田中さんの姿勢を整える 車いすの後ろから引き上げる 腰ひもを確認する 車いすの足台をあげ、田中さんの右足、左足の位置を決める
3 .介助者の状態を準備する	右手を田中さんの脇の下から背中に回し、腰ひもをしっかりと握る 右足を田中さんの両足の間に入れ、右足を固定する 田中さんの右手と右足で支えてもらう 左足を車いすの外に置き、肩幅より広く開く
4 . 立たせる	膝を曲げ、腰と腹に力を入れる 右膝で田中さんの左膝をささえながら、田中さんと一緒に、立ち上がらせる。
5 . 歩かせる	立ち上がったところで、介助者の左手と田中さんの右手をしっかりと組み、ダンスの姿勢を取る 介助者は田中さんをできるだけ、自分に密着するように言う。 再度、田中さんの姿勢を確認する 田中さんの健側からかけ声と共に前に出させる、介助者は左足を後ろに惹く。 次に、田中さんに右足にしっかりと重心を書けるよう指示し、左足を前に出させる。 介助者は右手で腰ひもを引き寄せ、腰から前に押すようにする。その際、介助者は右足で、田中さんの左足を保護しながら誘導する。

<p>6 . 段差を越える</p>	<p>段差の前で、一度止まり、段差のあることを田中さんに知らせる。</p> <p>健側から段差の上に足を載せる</p> <p>健側に体重をきちんと載せ、患側を段差に載せる。</p> <p>注意する点は、段差が大きい時、患側の足指が引っかからないよう、介助者の右膝や足で支える。</p>
<p>7 . 風呂場内を歩く</p>	<p>滑らない様に、一足一足ゆっくり移動させる。</p> <p>声を掛けながら、姿勢が崩れたら止まったりして、再度整えながらゆっくり進む。</p>
<p>8 . シャワーチェアに座る</p>	<p>近いところで、田中さんの右手を手すりに持ち替え、椅子に座らせる</p> <p>介護者は麻痺側（田中さんの左側）に立ち、座位を保持しながら、片足ずつ、移動させ、方向を転換する。</p> <p>適切な位置に着いたら終了。</p>